

女神さま・オープン(3ヵ月決算型)の運用状況

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信/海外/株式

2020年6月30日

当レポートでは、米国株式市場及び連続増配銘柄の足元の動向と今後の見通し、及び当ファンドの運用方針についてお伝えいたします。

予想を上回る経済指標を好感して上昇

6月の米国株式市場は前月に続き上昇しました(6月24日現在)。5月の雇用統計において非農業部門雇用者数が予想に反して増加に転じたほか、小売売上高が過去最大の増加になるなど、経済の急回復を示す経済指標が多く発表されたことが買い材料となりました。

業種別では、オフィスや商業施設の再開を好感して不動産株が上昇したほか、情報技術や一般消費財・サービス株が上昇率上位となりました。一方、前月に大きく上昇したエネルギー株が反落したほか、ヘルスケア株も軟調な動きとなりました(図表1)。

S&P500配当貴族指数の増配基調は継続

図表2は、直近1年間におけるS&P500種指数とS&P500配当貴族指数の1株当たり配当金(DPS)の推移を示したグラフです。S&P500配当貴族指数とは、S&P500種指数の採用銘柄の中から、25年以上連続して増配している銘柄を選別して構成された指数です。

両指数ともにDPSの増加基調は継続していましたが、2020年2月以降S&P500種指数のDPSの伸びが頭打ちとなり、今年末時点のDPSは前年比ほぼ横ばいになると予想されています。これは、厳しい業績状況に備えて十分な手元流動性を確保するため、減配や配当停止を決定する企業が増加しているためと思われます。一方、S&P500配当貴族指数のDPSは、景気後退が確実となった3月以降も増加基調に変化は見られず、今年末時点のDPSは前年比約+6%となる見通しです。

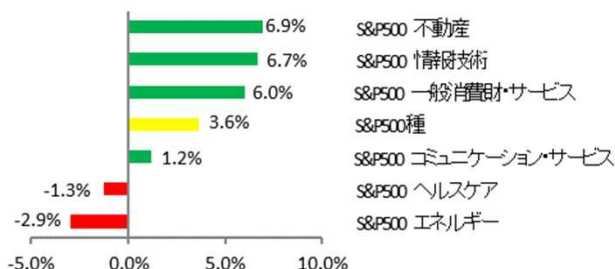
安定した事業基盤と財務の健全性の高さにより、長期に渡って増配を継続している同指数の採用銘柄は、今回の不況期においてもその強みを活かして連続増配を維持すると予想されます。

過去の水準を上回る配当利回りがサポート材料

図表3は、過去7年間のS&P500配当貴族指数の配当利回りの推移を示したチャートです。同指数の配当利回りは、過去と比較して高い水準で推移しています。これは、2020年2月から3月下旬にかけて株価が下落した一方、DPSは引き続き増加しているためと思われます。

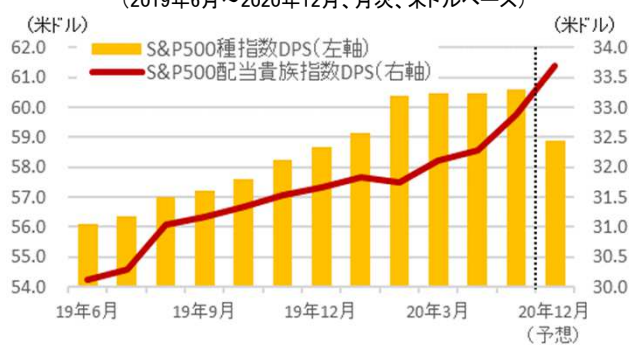
来月に発表予定の2020年4-6月期企業業績は、新型コロナウイルス感染拡大による景気悪化を受けて大幅な減益になることが見込まれます。今後、実際に発表される企業業績への失望感から株式市場全体が軟調な展開になった場合でも、連続増配銘柄は配当利回りの高さが見直されることなどから、相対的に底堅い動きになると予想しています。

図表1 S&P500種指数のセクター別リターン上位下位3セクター
(2020年5月21日～2020年6月24日、米ドルベース、配当込み)



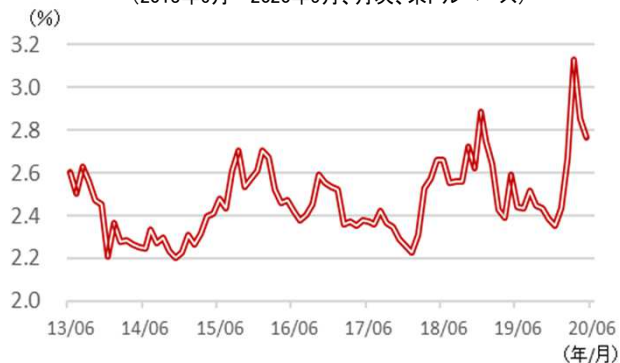
(注)セクターはGICS(世界産業分類基準)ベース

図表2 S&P500種指数とS&P500配当貴族指数の1株当たり配当金(DPS)の推移
(2019年6月～2020年12月、月次、米ドルベース)



(注)2020年12月の予想値は2020年6月25日時点

図表3 S&P500配当貴族指数の配当利回り(12ヵ月実績)の推移
(2013年6月～2020年5月、月次、米ドルベース)



(注) S&P Dow Jones Indices LLCの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCが発表しており、著作権はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属しています。
(出所) 図表1, 2, 3はBloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

運用状況 (作成基準日 2020年6月25日)

設定来の基準価額の推移



※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額は、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ファンドデータ

基準価額(円)	9,244
残存元本(口)	1,060,469,089
純資産総額(円)	980,283,631
実質株式組入比率(%)	92.0
短期金融商品その他(%)	8.0
組入銘柄数	70

直近6決算期	分配金(円)
第16期(2020年3月26日)	0
第15期(2019年12月26日)	450
第14期(2019年9月26日)	0
第13期(2019年6月26日)	0
第12期(2019年3月26日)	0
第11期(2018年12月26日)	0

※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※各決算期における分配金は1万口当たり(税引前)です。

組入上位10業種

順位	セクター名	比率
1	ソフトウェア・サービス	15.2%
2	各種金融	11.1%
3	ヘルスケア機器・サービス	9.9%
4	資本財	7.6%
5	小売	6.2%
6	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.9%
7	公益事業	5.6%
8	保険	5.5%
9	素材	4.3%
10	半導体・半導体製造装置	4.0%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	セクター	比率
1	S&Pグローバル	各種金融	3.3%
2	ネクステラ・エナジー	公益事業	2.9%
3	ティー・ロウ・プライス・グループ	各種金融	2.8%
4	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	2.7%
5	アマゾン・ドット・コム	小売	2.5%
6	アルファベット	メディア・娯楽	2.3%
7	MSCI	各種金融	2.2%
8	ビザ	ソフトウェア・サービス	2.2%
9	ドナー	資本財	2.1%
10	プリンシパル・ファイナンシャル・グループ	保険	1.9%

足元の運用経過と運用方針について

足元の運用につきましては、年初来の株価パフォーマンスが堅調だった家庭用品・パーソナル用品株の一部売却を行ったほか、小売株の一部を売却しました。一方、株価に出遅れ感があると判断した保険株の買付けを行いました。

今後の米国株式市場は、弱含みの展開を予想しています。大規模な景気刺激策や金融緩和政策により、米国経済は予想以上に早いペースで回復しているものの、今後は経済再開に伴って新型コロナウイルス感染者数が再び増加に転じることが懸念されます。また、2020年4-6月期の業績発表が本格化し、足元の脆弱なファンダメンタルズが懸念される可能性もあると考えています。

当面の運用につきましては、ソフトウェア・サービス株やヘルスケア機器・サービス株を高位にウェイト付けします。また、業績の下方修正リスクが低いと判断される生活必需品株の買付けを検討します。

(作成:運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型) 愛称 女神さま・オープン(3ヵ月決算型)
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープン(3ヵ月決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、米国の株式等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
 - 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.595%（税抜1.45%）
 - その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
松井証券株式会社	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社神奈川銀行	関東財務局長(登金)第55号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社福邦銀行	北陸財務局長(登金)第8号	○			

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)